

ザ・スポーツ

2016 奥飛騨紀行

新穂高 〓 神戸商大奥飛騨ヒュッテ ～ 西穂山荘 ～ 乗鞍岳 ～ 平湯 〓

2016 (H28) 10/9～11



神戸商大奥飛騨ヒュッテ

今回の参加メンバー右より

(淡水：学部 18 期)	野村 武 (71)	食糧計画担当	(弓道部)
(淡水：学部 18 期)	中谷 謙造 (71)	会計担当	(ワングル)
(淡水：学部 18 期)	吉田 秀夫 (71)	登山計画・リーダー	(ワングル)
(淡水：学部 17 期+1)	高松 晴彦 (72)	記録・稜線上のカメラマン	(弓道部)

吉田から商大奥飛驒ヒュッテを利用して紅葉を愛でながら、周辺散策をし、池に浸り、酒を酌み交わさないかとの提案があり、早速その話に乗った。10月初旬、吉田の大まかなマスタープランに基づき、野村を含めた3人で詳細を詰める段階で、一人でも多い方が賑やかで楽しいということになり、吉田が中谷に声をかけると、一呼吸おいて（奥方の了解を得て）参加を表明。

9日（日）9：00 JR大阪駅西口にて吉田、中谷と小生高松が合流。中谷とは40数年振りか、懐かしい。吉田マイカーにて一路草津へ。

11：00 草津野村宅に着。二泊分の食料品積み込む。

11：30 野村夫人、新婚の娘さんの

いってらっしゃあーい♡♡♡

の声を背に受け、新穂高に向け出発。運転手は往復ともに吉田一人ダ！何故？・・・安全運転頼むぜよ。



15：30 飛驒高山を降りると、今日から高山祭だ。観光客が多くなりそう。新穂高方面の車も多い。途中で川瀬豆腐店の豆腐が美味いと聞いていたので、立ち寄る。イワナも販売しているとの情報だったが、いまは取り扱っていない。ガッカリ！！平湯方面にイワナを扱っている店があるとの事で、期待。

16：45 平湯池を過ぎたところで、Fishing Senterの看板が見えた。早速交渉するとパートのオバちゃんだけで、すでに販売時間オーバー。明朝7：30からOPENするとのことで、明日に期待。

17：20 新穂高池 ホテルニューホタカ着。水川支配人に挨拶、土産の菓子を手渡し、日ごろの管理を謝す。どうも機嫌が悪そう。高山祭と言うのに客が一組も入っていないからなのか？それにしても駐車場は車が一杯？？車止めゲートのキーを借りる。これがまた開けるのに一苦労。



開けて車を入れる。

右に槍・穂高方面、ゲートの先は笠が岳、双六岳方面の入口でもある。やっところさ



←またまた立入禁止の柵がある。右へ笠が岳・双六岳方面立入禁止の柵の向こうに幻の神戸商大奥飛驒ヒュッテ（今まで何度かこの前の登山道を歩いたのに、発見できなかった）が白樺林の中にひっそりとたたずんでいる。





18:00 三角屋根のどっしりと、落ち着いた、味わい深い山小屋だあー!!!

歴史を感じるなあー。これだけでも感動・・・

小屋の鍵を開けて入ろうとするが、これも開けるのに手こずる。・・・なんでやネン??

小屋には電気が引かれており、点けると明るい。入って目の前に手作りと思える木製のテーブル、椅子、右隣に煉瓦で囲われた囲炉裏、後ろに食器棚(茶碗・コップ・皿等一杯)、入口左にキッチン、

シンク、鍋類、入口すぐ右に中型の電気冷蔵庫、右奥に8畳ほどの板の間、左奥は洗面所、トイレ。階段下にガスコンロ、炭などもある。2階はロフトになっていて、L型の板の間寝床、毛布、シュラフ等あり、至れり尽くせり。

18:30 荷をほどき、晩飯の前に虫に入ろうとのことで、吉田・中谷・小生3人が行くことになった。野村は朝風呂に入ってきたとのことで、断念。食事の準備をすることとなった。かたじけない・・・中崎山荘まで車で行き、@700(商大OBなら100円引き)払って秘境の虫に浸ったとき、感動のあまり、おしっこを漏らしそうになった・・・?



20:00 待望の晩飯だアー・・・ゴーハンダゴハンダーサータバヨー、イッタダキマース!!!




今夜はしゃぶしゃぶダー

どうだ!このたっぷりな牛肉が目に入らぬかあ?!
山小屋でのしゃぶしゃぶは初体験ダ

・・・食当に感謝してるぜ・・・

小生持参の自家製柚子胡椒も大好評!!!



ところで吉田・中谷両名は  は全く飲めないのだ。野村と・小生がプラス二人分飲むことになった。(キリン一番搾り、アサヒスーパードライ 500ml×6缶×2P)

21:30 夕食終了。その後ビール、酒、ワイン、お茶、茶菓子、つまみ等でミニ宴会はまだまだ続く。過去の失敗談、事件、カミナリ、登山道で出会った人たち、ダジャレも連発して、懐古談が尽きる事はなかった。・・・ところで現地調達するはずの山ガールはどうなったのでしょうか？

23:50 ミニ宴会終了。

10日(月) 0:00 2階で就寝。備え付けの毛布・布団にくるまって寝るもの、持参のシュラフで寝るもの



・・・ムムムム・・・グググー・・・ズズズー
・・・プウー・・・・・・・・・・・・・・・・

5:30 起床。ほのかな明るさ、しかし秘境は晩秋の寒さ、紅葉はチラホラ、・・・冷えるーう

6:30 朝食。サンドウィッチ、コーンスープ、コーヒー・・・

今夜は淡水会 26 期のヤングマン達 3 人ほどが同宿予定。賑やかになりそう。

7:30 吉田と小生はイワナの買い出しに行く。

(12 匹程購入予定・・・予定 2 匹/1 人 残る 4 匹はどうすんねん?)

野村・中谷両名は昼のおにぎりの用意、後かたづけ・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・



7:45 養魚場の責任者(40代)とイワナの交渉をするが、今日は高山祭で予約がいっぱいとのことで断られる。がっかり・・・ショボン・・・気を取りなおして「いけす」の見学でもと、案内してもらおう。・・・な・なんと!!イワナがうじゃうじゃ泳いでいるではないか。「これでも足りないくらいなんです」と責任者の弁。「4人楽しみに来たんです。せめて4匹でもあればいいなあ～と思ったんですが、残念デス・・・・」



・・・「4匹ですか？
それなら分けてあげましょう」「えっ?!ほんまでっか!?!う・うれいなあー♡♡♡♡♡」

こうして捌いてもらったイワナ 4 匹 GET!!おまけに鮭の切り身やら、一袋頂いた。メて¥1,200
目標の 12 匹には及ばなかったものの、野村・中谷両名の喜ぶ顔が浮かぶ。

8:15 小屋着。2人はもちろん喜んだ。早速冷蔵庫に保管。晩飯が楽しみだー

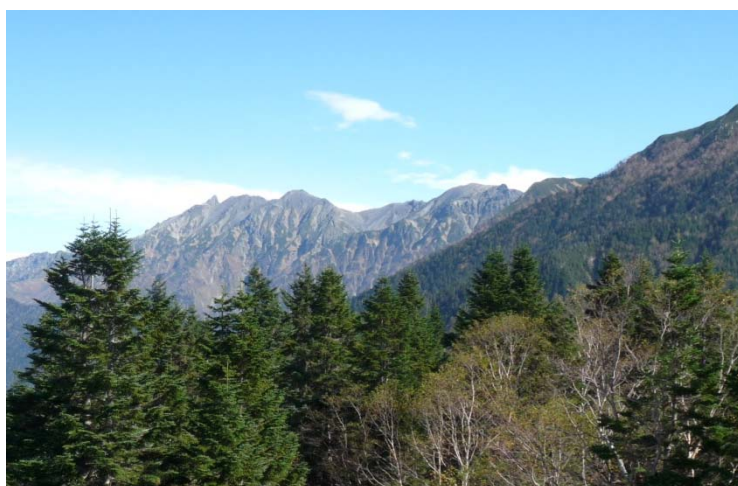
8:35 小屋出発。車でしらかば平®へ。そこからからロープウェイに乗って、千石（西穂南口）までいき、そこから尾根伝いに西穂山荘、出来れば独標まで行ければいいなあーと。・・・・・・
・・・・・・膝がもつかなあ〜、やや不安



昔の青年たちも今はこの姿



9:00 しらかば平駅出発。2階建てのゴンドラの中超満員。



・・・ロープウェイの中から眺める槍・南岳・大キレット・奥穂・ジャンダルム・西穂・・・



笠が岳を Back に笠新道の辛い登りを思い出す昔青年たち・・・

9:15 終点千石（西穂南口）に着

9:30 出発

9:40 登山届提出。→





9:45 一路西穂山荘に向けて出立。
このような平坦な山道ならいいのだがなあ～



赤岩尾根、ブナ立を思い出させる

お先にどうぞと、下りの登山者が登りの私に道を譲る。疲れた私にゃこれがコタエル。人の気も知らないでとブツブツ、ハーハー。
途中で子供連れの親子に会う。子供にゃ負けられんわいと、気を取り直すが足がそれに応えない。アーアー



赤い実は何の実？

サングラスが落ちている。小枝に紐でつるしてそれとなく分かるようにする。(我らは聖人なのだ、聖岳に登って以後山に入れば聖人に変身するのダァー)



シラビソ林の向こうに西穂高・奥穂高

11:45 ガスの中、西穂山荘が現れた。

本格登山、観光登山、老若・男女、さすがにハイヒール姿はいない。ここでもベタベタするチャイニーズカップルが多い。ここは下界とちゃうんや!!・・・ベチャツクナー!!・・・



12:00 昼食。おにぎり、ゆで卵（これが半生状態で、殻もひっついて取れない、もうぐじゃぐじゃ。作ったのはだれじゃ?）、コーンスープにお茶、食後のコーヒー。



眼下にテントサイト



ガスが上がって来たので、下山準備する。独標へは到底体力的に、ロープウェイの最終時間に間に合わない。

12:50 下山。小・中・高生のグループに出会う。「こんちわー」「こんちわー」「こんちわー」みんな元気だ。若いっていいなあー。

急勾配の下りはヒザに辛い。登りの者たちに、今度はお先にどうぞと道を譲る。・・・へへへ・・・

14:00 下山届提出。・・・ところでサングラスは吊るされたままでした・・・


14:30 ロープウェイ乗車。



14:45 しらかば平着。

途中で出会った親子→

15:00 早速♨に入るがシャンプー石鹸等一切ない。露天風呂だ、まあ汗が流せるだけで良しとするか。吉田の足元に虫の幼虫らしき死骸があって、喚き散らかす。「大のオトナが」と野村がそれを取り除く事件があった。

16:00 ♨を出るとシンセサイザーの  が響いてくる。



高校時代の級友から新穂高ロープウェイのところで、山の音楽家 IZANAGI 氏のシンセサイザーによるコンサートが（無料）あるから是非に聴いてくれと出発前に知らされていたのがこれかと、聞き入った。暮れなずむ、霧が立ち込めてきた白樺林の中に響き渡る音色は幻想的で、心に浸み渡るものであった。とりあえず気持ちだけ会計より¥1,000 寄付する。





18:00 商大奥飛驒ヒュッテに帰着。すると(26期)吉田晴彦氏が小屋の前にいた。着いたばかりだという。とにかく小屋の鍵を開けて、(またまた開けるのに手こづる。)中で自己紹介を交わす。当初3人のパーティだったが、結局単独行となったとのこと。夕食は我らの晩飯に参加させる。

19:00 夕食。今日はスパゲッティのアラカルト、ポテトサラダ、スープ、そしてビール、酒、ワイン

ヤングマン吉田氏は中学生の時に弓道を数カ月程たしなんだそう。野村と小生と3人弓道談義でとんちんかんな面もあったが、しばし盛り上がる。



商大時代は無所属だったそう。数年ほど前から地元の山岳会に所属しているが単独行を厳しく戒められており、本人反骨精神の持ち主なのか、酔いが回って来たせいなのか愚痴っぽい。

・・・待望の囲炉裏で焼く“イワナの塩焼き”・・・

ヤングマンにもおすそ分けする。(4匹を5人で)ところがオールドマン吉田はひとりではおぼる・・・→終宴に商大小唄を4人で歌い出すと、・・・“商大来るなら神戸へおいで♪♪神戸商大日本一♪♪良いところ播磨の垂水町よってけよってけホイサッサ～♪♪な～にがど～じゃい♪ど～じゃいな～♪”

・・・ヤングマンは感極まって涙ぐんでいる。“どうした?”

“垂水町を思いだして、う・うれしいんです!”と・・・彼も商大をこよなく愛する一人なのだ。

22:00 ミニ宴会終了。彼は笠ヶ岳に早立ちとのことで、別れを言って我らは2階で就寝・・・彼は1階で就寝。

・・・



11日(火) 6:00 起床。ヤングマンはすでに出立。我らも荷のパッキングと朝食準備にかかる。

7:00 朝食 ご飯・みそ汁・卵焼き・味付け海苔・お茶



8:30 ゴミの選別、部屋の片づけを済ます。
火の用心・戸締り確認

ゴミとリュックで一杯のトランク↓

・・・ゴミはどのように処分したのでしょうか？・・・



9:00 ホテルニューホタカの水川支配人に挨拶。

9:40 小屋のかぎの取り扱い（ヤングマン吉田氏の
帰着後の）で色々あったが出発。

ヤングマンは今頃笠新道の辛い登りについてい
ることだろう。無事を祈る。



10:10 ほおのき平着、乗鞍岳へのバス停。
頂上付近の温度は1℃とのこと。寒いぞ

10:55 ほおのき平をバスで出発。

11:55 乗鞍岳バスターミナル着
風も少しあってやはり冷える。

乗鞍岳





周辺は散策コースになっている。頂上へは登り1.5時間ほどかかるので、やめる。・・・

ナナカマドの実



12:55 乗鞍岳出発

13:55 ほおのき平着

この後平湯温泉の「ひらゆの森」で最後の垢を流す。7つの露天風呂めぐりは気持ちイー

さて昼飯の飛騨高山ソバの店を探そう・・・・・・・・・・ないっ！！！！・・・・・・・・

20:00 草津着

(あしがき)

膝を痛め、もう山には登れないとあきらめていたところ、吉田から神戸商大奥飛騨ヒュッテをベースにして紅葉の新穂高周辺散策をしてみないかとの誘いがあり、山に登れなくても、山懐に身を委ねるだけでいいという気持ちが強く、その話に乗ったものだ。

昔青年時代、商大の山小屋は何度か探したが、ついに見つけることができなかった。今回やっとその「幻の山小屋」に出会えたことは感動である。

初日のしゃぶしゃぶは山では初めての試みであった。それまではすき焼き（マツタケ入り）が定番だったものだ。牛肉たっぷり、おかげで牛バトルはなく楽しい夕餉であった。西穂山荘への尾根は急なステップが多く、鹿島槍の赤岩尾根を思い出した。（あの頃は20代の好青年だったよなあ）・・・山の音楽家によるシンセサイザーの幻想的な♪♪♪に出会えたのは、ラッキーでもあり、気持ちが静められたものだ。単独行のヤングマン吉田氏(26期)との出会い、ミニ宴会、イワナの塩焼き、ビール・酒・ワイン・ウィスキー・ダジャレの数々・・・、乗鞍岳の散策（寒かったなあ）そして👹👹👹の数々、ハプニングは♨️の中での幼虫死骸事件、高山ソバは口にすることは出来なかったが、笠が岳・槍が岳・奥穂高岳・西穂高岳そしてジャンダルムも垣間見ることができたし、足も無事だった。

今回の企画担当兼ドライバー吉田に感謝、食当野村に感謝、細かい会計を担当した中谷に感謝、ヒュッテ利用に際して何かとお世話を賜った稜線山岳会の中平様に感謝、そしてなにより「行ってらっしゃい」と快く送り出してくれた奥方達に感謝・感謝！！熊にも・スズメバチにも出会わず、山ガールとの楽しい出会いはなかったが、ケガもなく（頭ではないよ）楽しい紀行であった。

・・・母ちゃんまた行かせてネッ！！・・・